

## 令和4年度 藤沢清流高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
(1) 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務員としての自覚と使命感を持ち、法令順守及び服務規律の徹底を図る。	①不祥事防止研修を実施し、不祥事の事例や守るべき義務を確認した。 ③職員行動指針の周知・徹底を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。
(2) 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職場でのハラスメント行為を未然に防止し、健全な学校環境をつくる。	①不祥事防止研修を行い意識啓発と防止に努めた。 ②管理職は職員に対し、個別面談での聞き取りを丁寧に行なった。 ①・②により目標は概ね達成された。
(3) 生徒に対するわいせつ、セクハラ行為の防止	生徒へのわいせつ、セクハラ行為を決して起こさず、学校に対する信頼を確保する。	①わいせつ、セクハラについて啓発動画を全職員が視聴し、意識啓発に努め、防止に取り組んだ。 ②パワハラ、セクハラの実態把握をもとに、指導とアンケートを実施し、セクハラの抑止に努めた。 ①・②により目標は概ね達成された。
(4) 体罰、不適切な指導の防止	生徒への体罰、不適切指導を決して起こさず、学校に対する信頼を確保する。	①生徒の人権に関する研修会を実施し、体罰事例や不適切な指導例の把握とその防止に努めた。 ②生徒が気軽に相談できる相談体制の整備を図った。 ①・②により目標は概ね達成された。
(5) 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	ミスは起こりうる、誤りはあるとの前提に立ち、ミスを発見しやすい環境づくりとチェック体制の整備に努め、事故を未然に防止する。	①入学者選抜については、業務を入念に計画して要項を作成し、全職員に事前に配付して周知徹底した。 ②定められた手順により適切・公正な選抜を行った。 ③調査書点検を全職員で行い、誤りを防止した。 ④職員啓発資料を通じて、作問やチェック方法等について徹底を図った。 ⑤成績処理は他教科を交えて複数回点検を実施した。 ①～⑤により目標は概ね達成された。
(6) 個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流出を防ぎ、ウィルス対策の実施など情報セキュリティを保持する。	①USBメモリ等の外部記憶媒体を適切に管理し、携帯電話番号など個人情報の収集や外部持ち出しの適切な取扱いを徹底した。 ②事故防止研修を通じて適切な情報管理を徹底した。 ①・②により目標は概ね達成された。
(7) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故を起こさないよう細心の注意をもって運転する、飲酒しての運転は絶対に行わない。	①職員啓発資料を通じて交通安全、酒酔い・酒気帯び運転防止に関する啓発を図った。 ②職員がお互いに注意をし合えるような職場づくりを目指した。 ①・②により目標は概ね達成された。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

ゼロプログラムの実施とともに、日頃から事故・不祥事の防止に取り組んだ結果、当初の目標は概ね達成された。特にパワハラやセクハラ、体罰などの不適切な行為については、繰り返し事故防止研修を行い、不祥事防止会議を設置して防止に努めた。

令和5年度も引き続き、事故不祥事ゼロに取り組むたい。